

平成24年度

# 内閣府青年国際交流事業の参加青年募集

## 秋 田 県 募 集 要 項

海外や洋上で、世界各国の青年と交流し、相互理解と友好を深めてみませんか！？  
グローバルな視野と国際協調の精神を身につけるチャンスです！  
意欲のある方をお待ちしています！

### 【応募方法】

応募の際は、申込書、作文、健康診断書の提出が必要です。

(青年社会活動コアリーダー育成プログラムでは推薦書の提出も併せて必要です)

応募要領、所定の申込み用紙は市町村の青少年行政主管課、県の各地域振興局総務企画部、県国際課の窓口で請求するか、もしくは内閣府のホームページ(<http://www.cao.go.jp/koryu/>) からダウンロードしてください。

※原則として、応募時点で秋田県に住民票住所がある方が対象です。

※応募の際には健康診断書も併せて御提出ください。

(1) 募 集 期 間 : 平成24年2月13日(月)～3月23日(金) ※郵送の場合、当日消印有効

(2) 書類の提出先 : 〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県企画振興部学術国際局国際課 調整・国際政策班

### 【選考プロセス】

#### ◎県における選考(中間選考)

応募者を対象に、4月上旬に県で書類選考を行い、合格者を秋田県からの参加青年候補者として内閣府に推薦します。結果は4月中旬までに応募者全員に書面でお知らせします。

#### ◎内閣府における選考(第二次選考および最終選考)

県からの推薦に基づき、内閣府は受験者を決定し第2次選考試験、最終選考(会場は東京)を行い、最終決定します。

### 【事業説明会および帰国後報告会】

#### 既参加者から直接話を聞くことができます！

日時 : 平成24年3月10日(土) 14:00～ ※出入り自由

場所 : 秋田拠点センターアルヴェ3階「市民交流サロン」

秋田市東通仲町4-1 TEL 018-887-5310

※帰国後報告会の日程は変更となる場合があります。



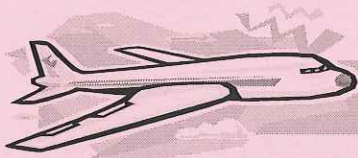
### 【帰国後の活動】

日本青年国際交流機構(過去に当事業に参加した青年等が自主的に組織している事後活動団体)に入会して、そのネットワークを活かしながら様々な活動を行うことが基本となります。

秋田県から推薦されて参加した方は、秋田県青友会(AKITA IYEO)のメンバーとして活動します。

### 《問い合わせ先》 秋田県企画振興部学術国際局国際課

TEL:018-860-1219 FAX:018-860-1225 メールアドレス:kokusaika@pref.akita.lg.jp



## 事業内容・応募資格



事業	国際青年育成交流	日本・中国青年親善交流	日本・韓国青年親善交流	青年社会活動 コアリーダー 育成プログラム	世界青年の船	東南アジア 青年の船	
訪問国	ドミニカ共和国、ヨルダン、ラオス、ラトビアの各国	中国	韓国	・高齢者関連活動 イギリス ・障害者関連活動 デンマーク ・青少年関連活動 ドイツ	バーレーン、メキシコ、ニュージーランド、スリランカ、トルコ 【外国人青年約100人と船内で共同生活を行うとともに、日本国内3カ所に寄港し、現地で視察や交流を行う。日本青年は航海終了後航空機で1カ国を訪問】	ブルネイ、インドネシア、フィリピン、シンガポール、タイ 【ASEAN10ヶ国の青年約280人と日本国内・船内・寄港地で共同生活をしながら様々な交流を行う。】	
実施時期 (期間)	平成24年9月	平成24年9月	平成24年9月	平成24年10月	平成25年 2月～3月	平成24年 11月～12月	
	18日間	15日間	15日間	10日間	27日間	52日間	
募集人数	40名 (各国10名)	25名	25名	24名 (各国8名)	110名程度	39名	
募集要件	年齢	18歳～30歳 (昭和56年4月2日～平成6年4月1日生まれ)		23歳～40歳 (昭和46年4月2日～平成元年4月1日生まれ)	18歳～30歳 (昭和56年4月2日～平成6年4月1日生まれ)		
	語学力等	交流活動を円滑に行える英語力を有すること。	訪問国の公用語(中国語・韓国語)による簡単な日常会話能力があれば望ましい。(必要条件ではありません)	高齢者関連、障害者関連または青少年関連の社会活動経験を原則3年以上有すること。 英語による簡単な日常会話能力があれば望ましい。	交流活動を円滑に行える英語力を有すること。		
	国籍	日本国籍を有すること					
	事後活動	帰国後も内閣府の事後活動組織に入会し、国際交流活動、青少年活動等の社会活動を活発に行うことができる者					
その他	内閣府(又は旧総務庁)の行う同種の事業に参加したことのある者は応募できません。ただし、青年社会活動コアリーダー育成プログラムへの応募はこの限りではありません。						
研修	事前、出発前、帰国後にそれぞれ研修を都内で行います。						
個人負担額	10万円程度	6万円程度	6万円程度	8万円程度	21万円程度	23万円程度	
	(内訳)国内研修費、船内供食費(船事業のみ)、渡航手続費用など。 ※上京・帰郷旅費、予防接種料なども別途本人負担となります。						

※訪問国及び日程は諸事情により変更になることがあります。

